

### 3 授乳の支援のポイント

#### 1 産科施設、小児科施設、保健センターなどの保健医療従事者が共有化する基本的事項

→母乳育児の支援を進める5つのポイントの提示。

○5つのポイントの解説頁を設定

#### 2 実践に向けてのポイント（実践例）

→施設や地域の実情によって、具体的な支援のあり方は異なるので、実践例の提示。

○個別の実践例頁（1例1～2頁を基本）を設定

—実践例テーマ—

- ◆産科施設における妊娠中から退院後まで継続した母乳育児支援の実践例
  - ・みやした助産院（案1 参照）
  - ・妊娠中の教育、退院後の継続支援に特徴のある病院の実践例
- ◆産科施設と地域の連携による実践例
  - ・病院と地域との連携
  - ・NICU退院後のフォローのための連携
  - ・病院に併設した子育て支援センターを通じた連携
- ◆保健センターを中心とした実践例
  - ・真岡市（案2 参照）
- ◆保育所での実践例
  - ・働くお母さんとともに親と初めて離れて生活する子どもへの支援
- ◆授乳しやすい環境づくりの実践例
  - ・駅や公的機関での授乳コーナーの設置促進
- ◆県（市）全体の支援ネットワークが充実した実践例
  - ・県の推進協議会を中心とした実践例
  - ・市の「おっばい都市宣言」に基づく実践例

## 母乳育児の支援を進める5つのポイント

下線 追加部分

～産科施設や小児科施設、保健所・市町村保健センターなど地域のすべての  
保健医療従事者が、もう一度、母乳育児の意味を考え、支援を進めていくために～

母乳で「育てる」ことは、赤ちゃんを健やかに「育てる」ことの基本です。

こうしたことが、自然に受け入れられ、実践できるように、妊娠中から出産後の環境を整えることは、赤ちゃんを「育てる」ことに自信をもってすすめていくことができる環境を整えることでもあります。

育児用ミルクで「育てる」ことも、同じように、時には母乳で育てること以上に、支援は必要です。

- 1) すべての妊婦さんやその家族とよく話し合いながら、母乳で育てる意義とその方法を教えましょう。
- 2) 出産後はできるだけ早く、母子が触れ合って母乳を飲めるように、支援しましょう。
- 3) 出産後は母親と赤ちゃんが終日、一緒にいられるように、支援しましょう。
- 4) 赤ちゃんが欲しがるとき、母親が飲ませたいときには、いつでも母乳を飲ませられるように支援しましょう。
- 5) 母乳育児を継続し、母親やその家族の育児力を育てられるように、社会全体で支援しましょう。

授乳は、赤ちゃんのからだと心を育みます。温かい母子のふれあいを通して、赤ちゃんの心は育ちます。授乳のときには、しっかり抱いて、目と目をあわせて、話しかけるように、支援しましょう。